

地震への現実的な 対応策を急げ



篠原 敏宏
(市政同志会2015)

◆危機管理対策室設置を

問 糸魚川静岡構造線や牛伏寺断層による大規模地震リスクは確実に高まっており、本市でも震度6以上の地震がいつ起きてもおかしくない状況と思うが、危機管理対策室を設置する考えは。

答 30年度の次期中期戦略に合わせ29年度に組織体制を見直すので、その中でこの件も検討項目にしたい。

◆木育を主要プロジェクトに

問 3月の木育サミットは木育推進のまち塩尻市を内外に発信でき意義あるイベントだった。木育推進の観点から、市内の小中学校給食や老人福祉施設に全面的に木製食器を導入する考えはないか。

答 檜川の小中学校での例もあり、また24年度からは市内全小中学校で漆の箸を使用しているが、さらに老人福祉施設等への普及を検討する中で市内の木工業振興と森林資源の活用の道筋を構築したい。計画中の北部拠点施設を

木育の拠点とする考えは。

答 施設の構造は木造主体を想定しており、木育活動を通じて施設の効用を高める効果も期待できる。完成後の活用の場面では「木育フェスティバル」の開催等も検討したい。

◆計画地は処分場適地か

問 東山に計画されている管理型最終処分場問題に対する市の関与と見解は。

答 計画協議の中で許可権限者である県と事業者に見解書を提出できる。計画現地は水道水源でもあり産業廃棄物最終処分場の適地ではないと考えている。



益城町の被災家屋の現況

災害・交通事故・感染 から命を守るために



山口 恵子
(公明党)

◆災害時の危機管理強化を

問 災害時は発災後の生活再建や義援金の支給を素早く実施しなければならぬ。手続きに必要な罹災証明書の発行の遅れが課題となっているが、本市の対策は。

答 被災者支援のために被災状況全般を管理できるシステムを活用し対応する。

問 災害時は高齢者や障がい者等に配慮した福祉避難所が必要になるが、介護施設等との協力体制はどうか。

答 福祉避難所として開設する場合には支援を受けられるよう協定を結んでいく。

問 指定避難所の通信環境は避難者にとって必要だが、整備されているのか。

答 非常時には市内の小中学校と支所に災害時特設公衆電話を、インターネット活用にWiFi環境を整備している。

◆交差点の早期改良を

問 松本歯科大学東側の交差点は小中学校の通学路で毎年交通事故が発生し、危険性が

指摘されている。新体育館建設後は交通量が増加するが、早期に改良工事が必要では。

答 現地は変則的な七差路で見通しが悪い。平成32年度までにアクセス道路を整備したい。

◆乳幼児の感染予防を

問 B型肝炎は本年10月から定期接種化され0歳児は無料で予防接種が受けられる。3歳までに感染するとキャリア化しやすいため、1〜2歳児も助成をして予防接種の推進を図る必要があるが、対策は。

答 尊い命に関わることなので3歳までを対象に助成するよう検討していく。



事故で壊れた横断旗ボックスと車止め